



1年間のまとめとしての修了式 小学校生活の締めくくりとしての卒業式

新型コロナに翻弄された令和2年度ですが、まもなく終わりを迎えようとしています。そして、どの学年の子供たちも、この1年間を振り返り、学習面・生活面について最後のまとめに取り組んでいます。

先日、2月に実施した学力テスト（国語・算数）の結果が届きました。各個人には結果の個票が配付されます。（3/22 配付予定）その中には、結果とともによかったところ・改善するところ等の文章記載がされています。特に改善が必要なところは、今後しっかり取り組ませていきたいです。

さて、今年度1年間のまとめとしての修了式を3月22日に実施します。1年生から5年生が参加します。今年度1年間を振り返り、できるようになったこと・分かるようになったことを自分の成長として捉えさせたいと思います。また、新年度に向けての意欲を高めるとともに、抱負をしっかりとらせる式にしたいと思います。

さらに、小学校生活の締めくくりとしての卒業式を3月23日に実施します。本来ならば、多くのご来賓のご臨席と在校生の参加をもって式に臨みたいところですが、新型コロナの影響から規模を縮小し、卒業生・保護者・PTA会長様・在校生代表（5年）・職員で実施します。規模を縮小することになりますが、卒業生の新たな旅立ちを祝福する気持ちは参加者全員、変わることはありません。6年生は、3月の初めから卒業式の練習を始めました。6年生34名一人一人が、最高の卒業式にしようという気持ちで練習に臨んでいます。

23日の卒業式では、6年生の立派な姿が見られることでしょう。

新鼓笛隊による全体練習

6年生がまもなく卒業することから、新年度に向け新しい鼓笛隊を編成します。本校の鼓笛隊は、これまで5・6年生での編成でしたが、児童数の減少から新年度は4・5・6年生での編成とします。ですから、現在の3・4・5年生が練習に取り組んでいます。昨年末にそれぞれの楽器のオーディションを行い、担当する楽器が決まりました。パートごとに練習を進めてきましたが、新型コロナの影響で練習制限があり、思うような練習ができませんでした。しかし、それでも少しずつ練習を積み重ね、何とか全体練習に取り組めるまでになりました。子供たちは、これまでの先輩が築き上げてきた伝統をしっかりと引き継ごうと、一生懸命に練習に取り組んでいます。



5年・・・さんが新鼓笛隊の総指揮となり、全体の中心となります。



それぞれのパートに別れての練習から全体での練習となり、音合わせに取り組んでいます。